

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月13日
広島電鉄株式会社

2021年3月期 連結経営成績

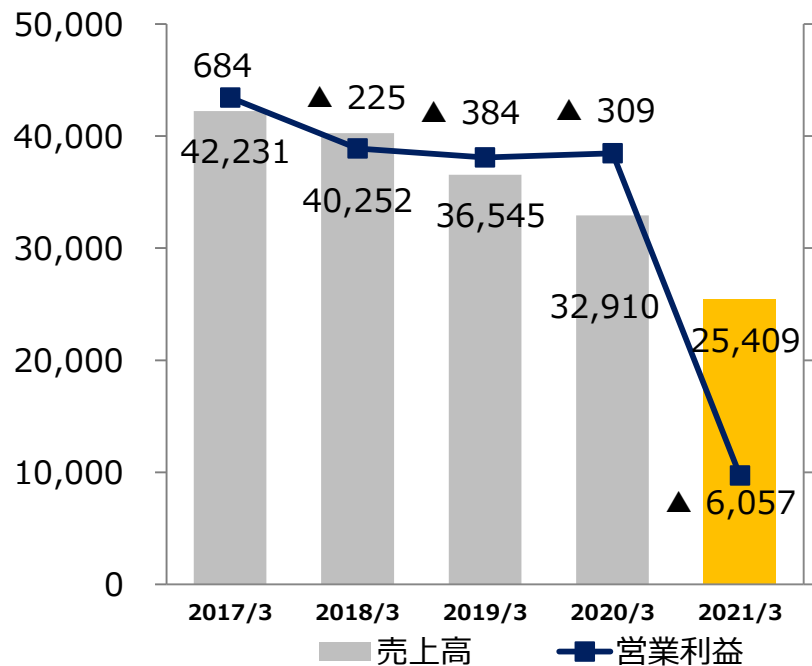
(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	32,910	25,409	△7,501 (△22.8)	運輸業、流通業およびレジャー・サービス業において新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、大幅な減収減益
営業利益	△309	△6,057	△5,748 (-)	
経常利益	△290	△6,049	△5,759 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	629	△3,291	△3,921 (-)	ホテル事業、商業施設事業終了に係る減損損失等を計上するも、新型コロナウイルス感染症に係る各種助成金の受領等により特別損益は改善
1株当たり 当期純利益	20.76円	△108.51円	△129.27円	

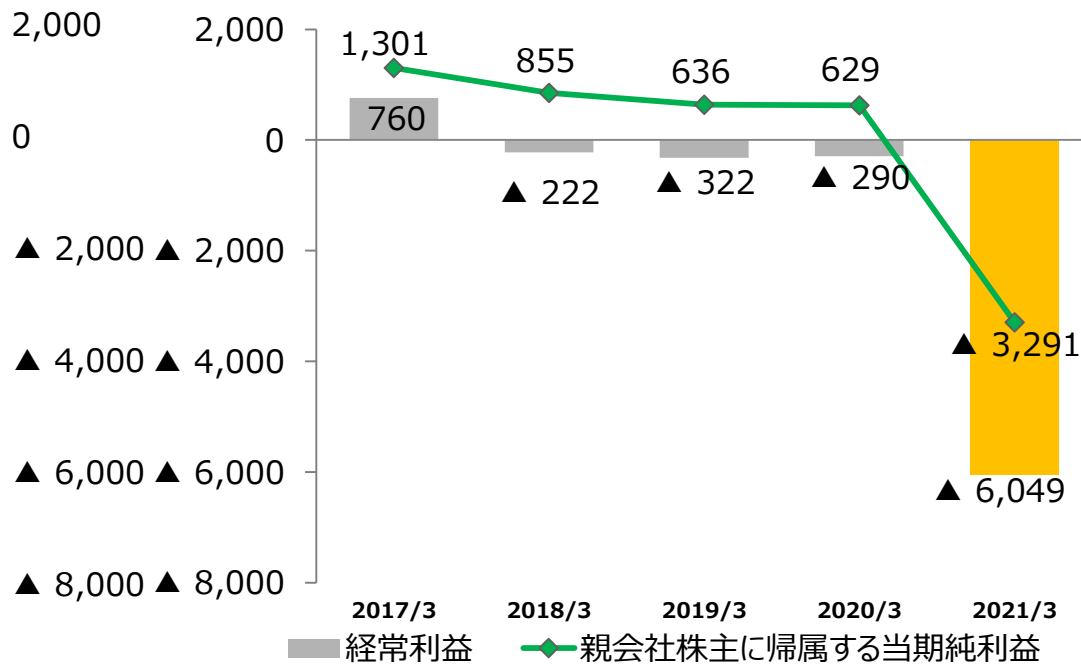
連結業績の推移

(百万円)

売上高・営業利益



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表(B/S)

(百万円)

		2020年 3月期	2021年 3月期	増減	主な増減要因
資 産	流 動 資 産	12,854	13,473	+618	現金及び預金の増加等
	固 定 資 産	76,976	78,648	+1,671	保有する上場株式の時価上昇による増加
	資 産 合 計	89,831	92,121	+2,290	
負 債	流 動 負 債	25,580	22,558	△3,022	増加：未払金等(支払猶予等)+1,740 補償金等前受金 +1,323 減少：短期借入金 △6,183
	固 定 負 債	21,975	30,178	+8,203	長期借入金 +8,005
	負 債 合 計	47,556	52,737	+5,180	
	株 主 資 本	17,645	14,237	△3,407	利益剰余金の減少
	その他の包括利益累計額	23,484	24,157	+673	保有する上場株式の時価上昇による有価証券評価差額金増加
	非支配株主持分	1,145	989	△156	
純 資 産 合 計	42,275	39,384	△2,890		
負 債 純 資 産 合 計	89,831	92,121	+2,290		

連結損益計算書 (P/L)

(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	主な増減要因
営業収益	32,910	25,409	△7,501	
運輸業等営業費及び売上原価	26,127	25,028	△1,098	
販売費及び一般管理費	7,092	6,438	△654	
営業利益	△309	△6,057	△5,748	
営業外収益	361	753	+392	受託工事収入+348 その他+54
営業外費用	342	745	+402	受託工事費用+348 支払利息+13 その他+23
経常利益	△290	△6,049	△5,759	
特別利益	2,836	5,558	+2,721	運行補助金+597 受取補償金+563 新型コロナウイルス感染症に係る助成金+1,822
特別損失	1,466	2,220	+753	減損損失+838
税金等調整前当期純利益	1,080	△2,711	△3,791	
法人税・住民税及び事業税	339	113	△226	
法人税等調整額	66	615	+549	繰延税金資産取崩による影響
当期純利益	673	△3,440	△4,114	
非支配株主に帰属する当期純利益	44	△148	△192	
親会社株主に帰属する当期純利益	629	△3,291	△3,921	

連結キャッシュ・フロー(C/F)

(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,966	2,889	△1,076	未払費用、工事前受金の増加等があるものの、税金等調整前当期純損失の計上が大きく影響
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,338	△2,939	+1,398	宮島口整備事業に伴う前受補償金受入等
財務活動によるキャッシュ・フロー	69	1,246	+1,177	新型コロナウイルス感染症特別貸付制度による長期借入金の増加等
現金及び現金同等物の増減額	△302	1,196	+1,499	
現金及び現金同等物の期首残高	4,316	4,013	△302	
現金及び現金同等物の期末残高	4,013	5,210	+1,196	

セグメント別経営成績①運輸業

(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	21,856	14,782	△7,073 (△32.4)	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、運行間隔の見直しや運行本数の調整などを行いつつ、定期的な施設や車両の清掃・消毒、車内の換気等の徹底を図り、お客様や従業員の安全の確保を図った</p> <p>また、お客様の利便性と事業の効率性の両立を図り、公共交通の路線ネットワークを確保するため、将来にわたって持続可能な新たな交通システムの構築を目指し、様々な取り組みを実施した</p> <p>しかし、鉄軌道事業および自動車事業では在宅勤務や外出自粛等の影響が大きく、海上運送業および索道業では宮島への観光客が大幅に減少した影響を受け大幅な減収減益</p>
セグメント利益	△1,682	△ 7,174	△5,491 (-)	
運行補助金	1,695	2,292	+597 (+35.2)	
運行補助金を 含めた損益	12	△ 4,881	△4,894 (-)	



セグメント別経営成績②流通業

(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	2,591	1,300	△1,291 (△49.8)	2019年12月末で廿日市市宮島口の「宮島口もみじ本陣」を閉店した影響に加え、観光商業施設「etto」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により臨時休業を実施し、サービスエリアにおいても高速道路利用が大きく減少したことが影響し減収減益
セグメント利益	28	△ 123	△152 (-)	

セグメント別経営成績③不動産業

(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,024	5,107	+1,082 (+26.9)	不動産賃貸業では新型コロナウイルス感染拡大の影響による賃貸料の減額等により減収となるも、不動産販売業は分譲マンション「hitoto広島The Tower」が2020年4月に竣工し、2020年8月より引渡を開始した影響により増収増益
セグメント利益	1,266	1,522	+255 (+20.2)	

セグメント別経営成績④建設業

(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,790	4,666	△124 (△2.6)	当社グループ向け工事や民間工事の受注は増加したものの、砂防堰堤工事、下水道建設工事等の大型の公共工事の減少が影響し減収減益
セグメント利益	188	166	△22 (△11.9)	

セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

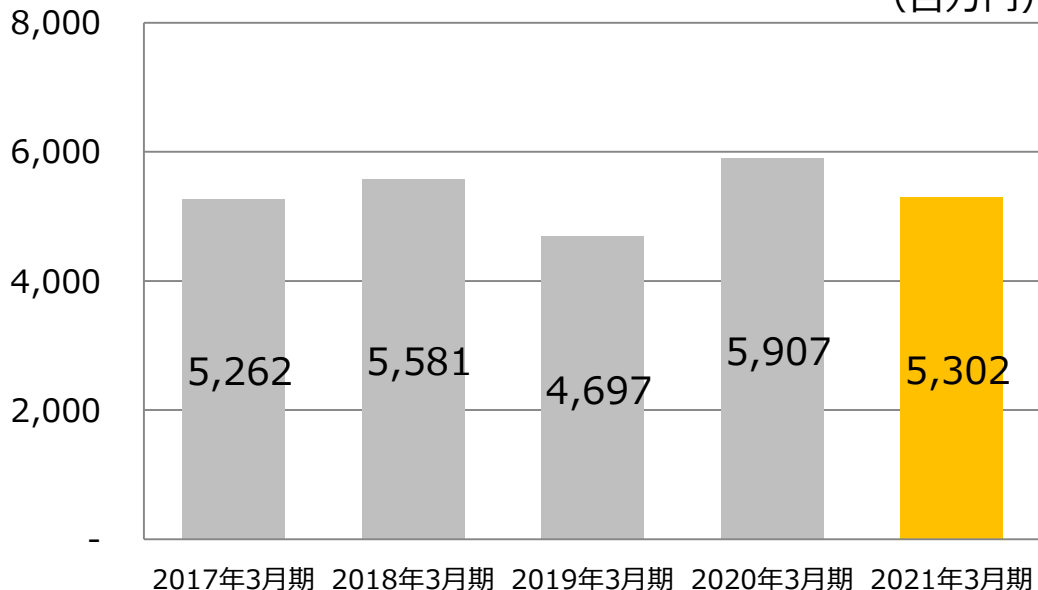
(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,787	970	△817 (△45.7)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ホテル業の宿泊利用や宴会利用が大幅に減少し、建物の老朽化も踏まえ、2021年1月末日をもって営業を終了したことが影響して減収減益
セグメント利益	△9	△432	△422 (-)	

設備投資の状況（連結）

設備投資額の推移

(百万円)



主な設備投資

広電宮島口駅移設工事(開発中)

1,180百万円

5200形グリーンムーバー-APEX 2編成購入

880百万円

自動車事業用車両28両購入

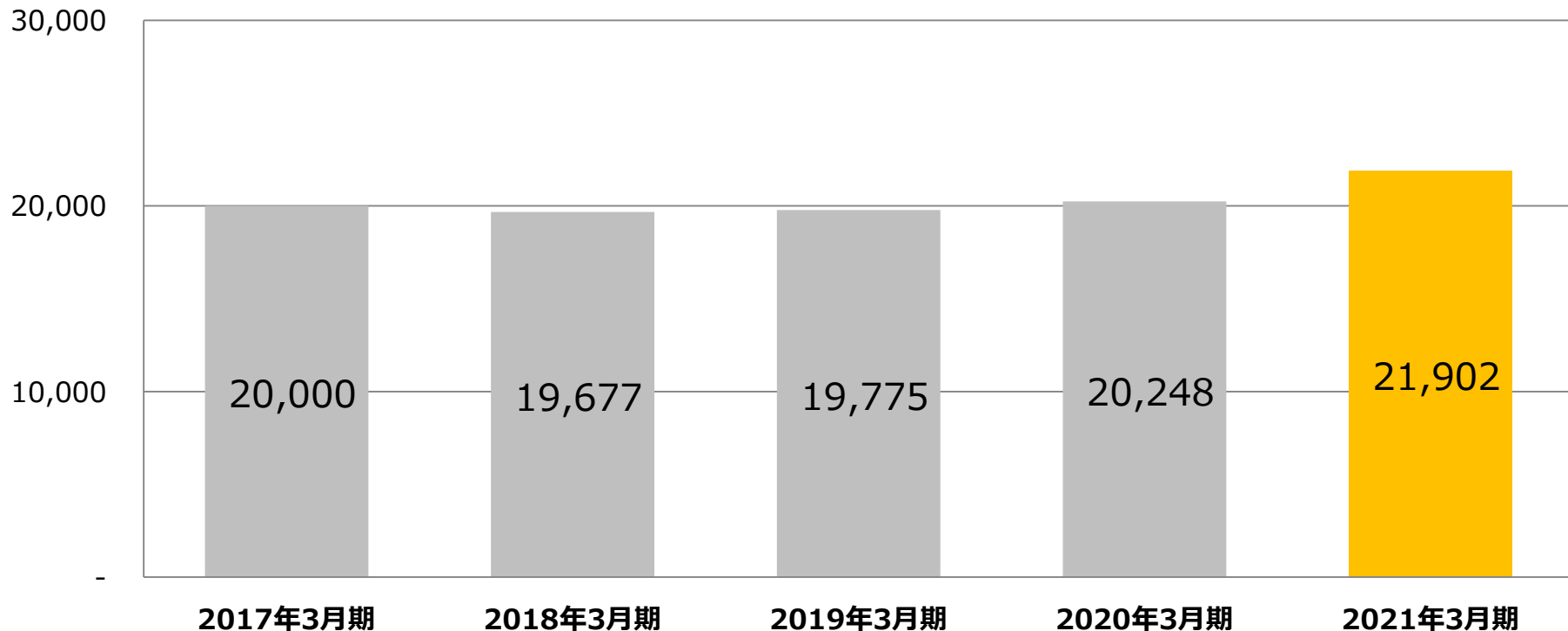
714百万円

広島北営業所改築工事(開発中)

309百万円

有利子負債の状況（連結）

(百万円)



2021年度の主な設備投資予定（連結）

電車

	導入数	金額
宮島口整備事業 ※2022年度完成予定		1,492百万円
5200形グリーンムーバーAPEX	1編成	440百万円

自動車

	導入数	金額
自動車事業用車両購入	25両	648百万円
広島北営業所改築工事		148百万円

不動産

	金額
(仮称) 海老山マンション新築工事	505百万円



▲広電宮島口駅新駅舎（イメージ）



▲広電宮島口駅軌道移設工事（2021年4月撮影）

2022年3月期 連結通期業績予想

(百万円)

	2021年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売上高	25,409	29,070	+3,660 (+14.4)	新型コロナウイルス感染症対策の実施やワクチン接種の進展等により、国内を中心とした移動需要が徐々に回復していくと想定
営業利益	△6,057	△ 3,300	+2,757 (-)	
経常利益	△6,049	△ 3,320	+2,729 (-)	運輸業における需要に応じたタイヤの見直しや、経費削減の徹底による固定費の削減、ホテル事業の廃止等の効果により損失額が減少見込
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,291	△ 690	+2,601 (-)	

連結業績予想の前提条件

【収入の見通し(セグメント別)】

セグメント	収 対 前 年 入 比	備 考
運 輸 業	+14%	新型コロナウイルス感染拡大前の80%弱までの回復を想定 インバウンドを含めた観光需要はやや回復が遅れると想定
流 通 業	+31%	宮島来島者数、高速道路利用者数の回復を想定
不 動 産 業	+25%	安芸郡府中町に建設中の分譲マンション「ザ・府中レジデンス」引渡開始により増収見込
建 設 業	+15%	宮島口整備事業など当社グループ向け工事の受注増加を見込
レジャー・サービス業	△11%	2021年1月末に「ホテルニューヒロデン」を営業終了した影響

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542